

【無料公開シンポジウム】

# 妊婦健診体制を考える

—今の健診体制に満足していますか?—

平成22年

10月2日(土) 13:00 - 16:00

**会場** 発明会館 (虎ノ門) 東京都港区虎ノ門2-9-14  
電話: 03-3502-5499  
(銀座線虎ノ門3番出口より徒歩5分、霞ヶ関A13出口より徒歩13分)  
ホームページ <http://hatsumeikaikan.com/index.html>

**主催** 厚生労働省科学研究 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)  
「わが国における新しい妊婦健診体制構築のための研究」研究班  
日本産婦人科学会周産期委員会

**共催** (財) 母子衛生研究会

**座長** 松田 義雄 (東京女子医科大学産婦人科教授)  
齋藤 滋 (富山大学大学院医学薬学研究部産婦人科教授)

**講演** 政井 マヤ (アナウンサー)  
「私の体験から～妊婦健診に望むこと～」  
久保 隆彦 (国立成育医療研究センター産科医長)  
「リスク評価は妊婦さんからどう評価されていますか?」  
中井 章人 (日本医科大学産婦人科教授)  
「セミオープン・オープンシステムをもっと活用しよう!」  
齋藤 益子 (東邦大学医学部看護学科教授)  
「助産外来は妊婦健診体制を変えるか」



## 【開催趣旨】

妊娠期間を安心して過ごし、安全な分娩を迎えるために、お母さんと赤ちゃんの健康状態を定期的にチェックする「妊婦健康診査(妊婦健診)」に、「母子(健康)手帳」はなくてはならないものです。

昨年度は、「母子健康手帳を皆で考えよう!!—今、妊婦健診に必要な情報は?—」と題した公開シンポジウムを同じ場所で行いました。多くの貴重な意見や提言がなされましたが、母子健康手帳を「健診の補助的なもの」と考える医療従事者と「記載が不十分」と考える妊婦との大きな隔たりが浮き彫りとなりました。

妊娠・分娩を取り巻く状況は依然として厳しいのが現状ですが、安心かつ安全な出産に向けて関係者が精一杯の努力を続けている事も忘れてはなりません。

その上で、今の妊婦健診体制に、足りないものは?改善すべき点は?残すべきものは?といった新たな「妊婦健診」構築に繋がる可能性について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

参加無料

お問い合わせ・参加お申込みはコチラまで

所属、氏名、連絡先をご明記のうえ、  
下記FAX番号までご連絡お願いいたします。

**FAX : 03-5269-7615**